

金箔技法の東西

金箔は金の合金を極限まで薄く打ち延ばしたもので、世界中の美術工芸品に用いられてきています。その起源は紀元前4000年以前のエジプト文明まで遡り、古代ヨーロッパでは金を細く切った截金技法で装飾されたガラス器、中世では聖像テンペラ画の背景を特殊な金箔技法で飾りました。またアジアでも古代の仏教美術を中心に截金で飾られ、中世やまと絵でも絵具と金銀箔が融合したさまざまな技法が用いられてきました。近世以降に隆盛する金碧画の世界は、日本の絵画イメージを代表するものともいえるでしょう。本講座では、4回にわたり東西それぞれの金箔技法がどのようなものであったのか、技法や材料、あるいは製造史の視点も交えて、各分野の専門家が解説します。

講座日程

第1回 5/26日

「幻の技法「截金」の起源を探る」

講師：並木秀俊（日本画家・截金師・東京藝術大学ゲスト講師）

第2回 6/9日

「東アジアの金箔製造史」

講師：阪野智啓（愛知県立芸術大学美術学部日本画専攻准教授）

第3回 6/23日

「黄金背景テンペラ技法」

講師：成田朱美（愛知県立芸術大学文化財保存修復研究所研究員）

第4回 7/7日

「桃山～江戸絵画の主題と金加飾」

講師：本田光子（愛知県立芸術大学美術学部芸術学専攻准教授）

●場所：愛知県立芸術大学

●時間：12:50～14:20

●定員：1講座30名、要事前申込

●受講料：1講座2,500円（複数受講可）

●申込期間：4/14～5/12（先着順）

申し込みはこちら



- ・お好みの講座を選んでご受講いただけます（複数受講可）。・申込受付後、お支払方法をご案内します。
- ・お支払いいただいた受講料は参加有無にかかわらず返金や払い戻しはできません。予め予定をよくご確認の上、お申し込みください。
- ・受講料の入金確認を以て申込完了とします。

（予告）【2025年秋期リカレント定期講座】

「金箔置き上げの技法と黄金背景の盛り上げ装飾」(実習) 講師：阪野智啓/成田朱美

- ・9月～12月（全4回、日程未定、月曜開催）
- ・時間：13:30～15:30（実習2時間）
- ・場所：愛知県立芸術大学文化財保存修復研究所（定員15名）
- ・4回全て受講できる方対象（制作工程管理のため）

※内容は現時点での予定です。変更する可能性があります。※申込時期は現在調整中です。決まり次第大学Webサイト等でお知らせします。

お問合せ

愛知県立芸術大学 芸術情報・広報課

〒480-1194 愛知県長久手市市岩作三ヶ峯1-114

☎0561-76-2873

（受付時間 平日 9:00～17:30）

メール：geijo@mail.aichi-fam-u.ac.jp

アクセス

◆名古屋方面から

市営地下鉄東山線終点「藤が丘」駅下車、
東部丘陵線（リニモ）に乗り換え「芸大通」駅下車、
徒歩約10分

◆豊田・瀬戸方面から

愛知環状鉄道「八草」駅下車、
東部丘陵線（リニモ）に乗り換え「芸大通」駅下車、
徒歩約10分

